

北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

職業実践専門課程 建築デザイン学科(2年制)

建築士専攻

※2025年度実績

教科目	概要	1年次	2年次
英語	初歩的な英語の運用能力を養う。実践の場で自ら積極的に英語を使う意欲の向上を目指す。	○	
色彩計画論	色彩の基本的な概念、理論を学び、環境の色彩計画・デザイン事例に触れることにより色彩計画を習得する。	○	
キャリアデザイン	キャリアデザインの理論や社会の実情について学び、自立的・主体的に考え行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力を養う。		○
基礎製図	建築設計図の基礎、表現、技法を習得すると共に、デザインすることの意義を学ぶ。	○	
設計製図Ⅰ	実務で必要な諸規定を設計実務とリンクした設計演習課題を通して学習し、建築設計における設計図書の作成プロセス、各段階における建築模型等検討資料の作成プロセスとその役割を理解し、基礎的デザイン技術を身につける。	○	
設計製図Ⅱ	設計製図Ⅰで習得した理論、知識、技術を発展させるために様々な建築用途の演習を通して建築を学ぶ。		○
建築設計デザイン演習Ⅰ	デザイン基礎科目を踏まえ、建築設計デザインの在り方と課題について具体的に理解し、演習を通して建築設計デザインを行う意義と有用性について学ぶ。	○	
建築設計デザイン演習Ⅱ	建築設計デザインⅠを踏まえ、様々な用途の演習を通して、的確な空間把握、用途に応じた設計デザインを提案する能力を養う。		○
建築CAD演習Ⅰ	建築CADの概要、二次元CADによる作図の方法を学び、コンピューターを利用した設計・製図技能を習得する。	○	
建築CAD演習Ⅱ	室内環境、景観などをシミュレーションし、素早く、きれいに、分かり易く、設計内容を揭示する能力を養う。		○
住宅・店舗設計演習	住宅・店舗設計に係る基本科目等の基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して住宅・店舗設計に関する知識と技術を学ぶ。		○
建築計画Ⅰ	各種建築物の計画に関する条件(立地、予算、法規、機能)を整理検討し、具体的な形状や空間としてまとめる設計能力を養う。演習課題を通して豊かな建築空間を合理的に計画し設計できる実践的な人材の育成を目指す。	○	
建築計画Ⅱ	建築計画Ⅰで得た知識をもとに、より実務的な演習課題を通して、建築空間の理解をさらに深めることを目標とする。		○
住空間計画	住宅を対象に住宅が成り立たせる背景を学ぶ。建築設計、計画における幅広い視野を習得。	○	
都市デザイン	私達の生活する都市は今どのような問題に直面しているか。今日の都市に求められているものは何かを論じ、具体例に即して考察する。		○
建築環境工学	安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する。	○	
建築設備計画	建築の要素技術である建築設備の位置づけおよび概念的な内容を講義する。給排水衛生設備計画を進める上で必要となる基礎知識を習得する。	○	
建築構造力学Ⅰ	本講義では構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形の関係を理解する。	○	
建築構造力学Ⅱ	各種構造物が力学的にどのような構造になっているか構造力学の原理を理解させ、不静定構造に関する基礎理論を体系的に解説し、演習を交えて理解を深める。		○
建築構法	建築物の構造システムや建築形態とそれに相応しい構造材料・構造方式、および各種構造における構法を学習する。	○	
木構造	日本建築の特徴である木構造の基本を理解し、施工の概要、構造の特徴、木材の性質、構造設計に必要な構造計画を学ぶ。	○	
鉄筋コンクリート構造	コンクリート構造物の歴史、長所と短所、架構形式や力学的性質、設計法などを学ぶ。	○	
鋼構造	鋼構造の建築空間構成に果たす役割、材料として鋼材の性質、空間構成の方法と設計の基礎となる変形・力の伝達と耐力等を体系的に理解することを目指す。		○
建築材料	建築に必要とされる材料の種類や性質、用途・用法を学習する。建築構造材料の力学的特性、耐久性を理解し、仕上げ材を適材適所に選定できる能力を養う。		○

北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

建築生産	建築の生産システムの特徴、他産業との関連について学び、建築が社会に何を生み出せるのかを知ることを目指す。	○	
建築施工	建築が完成に至るまでの手順・プロセスを知り、同時に安全管理や設備など、実際に建築士として役立つための知識を習得する。		○
建築法規Ⅰ	建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について学び、設計に際しての実務に応用すべく能力を養う。	○	
建築法規Ⅱ	建築法規Ⅰで得た知識とともに、法を踏まえた上での建築設計・デザインの表現を知る。		○
建築概論	建築を学び始めるにあたって、人間の生活環境としての建築空間を創造する理論、方法を概観することを目的とする。これから始まる建築に関する種々の専門分野の相互関係を理解する。	○	
造形演習Ⅰ	作品制作を通じて建築物を立体的に表現する能力を身につけ、建築設計に必要な三次元形態の把握、空間構成の基礎力を養う。空間の把握とその伝達表現をモデリング制作等の実践的な演習を通じて習得する。	○	
造形演習Ⅱ	模型制作を通して各工法の基本となる構造や名称を学習し、現場施工の手順に沿って組み立てることにより、施工の流れの概略を理解する。		○
北国の建築	雪国ならではの独特な設計や施工、デザイン、問題点などを事例を踏まえて学習する。	○	
建築プレゼンテーションⅠ	建築を表現するための手段としてのプレゼンテーションについて、知識と技術を学び、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う。	○	
建築プレゼンテーションⅡ	基本計画・設計を造形的表現、技術的表現を用いて的確に伝達するビジュアルプレゼンテーション技法を学ぶ。		○
パースペクティブ演習	設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する。	○	
ユニバーサルデザイン論	バリアフリー新法を理解し、ユニバーサルデザインを考慮した各部寸法、面積、配慮事項を設計演習を通して学ぶ。	○	
前期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作をする。	○	
後期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作をする。	○	
卒業制作	制作者自身でテーマを決め、立てた問いをデザイン(設計)で解決する。新たな問題を発見し、提案し、独創的な解を導き、プレゼンテーションや模型で表現。2年間の集大成の作品作りに取り組む。		○
総履修単位時間		1,200	1,200

取得目標資格	在学時：1級建築施工管理技士補、2級建築施工管理技士補、建築CAD検定、福祉住環境コーディネーター検定、色彩士検定、宅地建物取引士、アソシエイトインテリアプランナー、インテリアコーディネーター、商業施設士補、ビジネス能力検定ジョブパス、北海道専修教育士、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験など 卒業後：一級建築士(卒業と同時に、登録要件：実務経験4年)、二級建築士(卒業と同時に)、木造建築士(卒業と同時に)、インテリアプランナー、1級建築施工管理技士(実務経験5年)、2級建築施工管理技士(実務経験2年)、商業施設士(商業施設士補保有者は学科試験免除)
--------	--

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間学びます。

(2026年度入学生から単位制に変更になります。授業時間については、1年間で900単位時間、2年間で1,800単位時間となります)

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。